

高級住宅街に憩いの空間を創出

ボルダリングジムの麻布十番で開店。
初心者でも気軽に楽しめる
お客様目線での接客を心掛ける。

麻布十番の工場跡地の
ボルダリング施設

都営大江戸線・東京メトロ南北線の「麻布十番」駅から徒歩5分。オフィスビルや飲食店でにぎわう駅前を少し離れ、バスや車がひっきりなしに行き交う麻布通りを東に折れると、閑静な高級住宅街が広がっている。その中ほどに位置するのが、「クライミングジムSPIDER」だ。周囲には、新築の低層マンション、古くからの邸宅に交じって、レストランなどの個人商店も並ぶが、いずれもゆつたりと落ち着いた印象。領事館や大使館が立ち並ぶ土地柄、周辺住人の外国人が街を歩く姿も見られる。

ここ南麻布一丁目（旧麻布竹谷町）は、古くは高級住宅地と町工場が共存してきたが、現在は、町工場の多くはマンションへと姿を変えている。「クライミングジムSPIDER」もまた、町工場跡地を利用した店である。

「初心者にも親しみやすく」
店主の配慮に満ちた店内

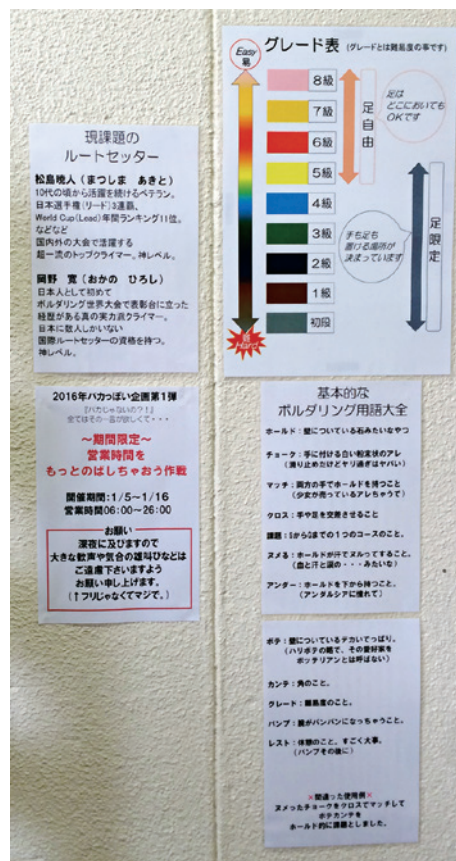
「クライミングジムSPIDER」の開店は、平成26年7月。路地に面したファサードはガラス張りで、店内を奥まで見渡すことができる。目に飛び込んでくるのは、片面の高い壁一面にびっしりと設置された、色



クライミングジム SPIDER



店舗外観



グレード表



とりどりの人口岩だ。床のほとんどは、クッションの効いた分厚いマットレスでおおわれている。

これらを使って楽しめるのは、ボルダリングというスポーツである。ボルダリングとはロッククライミングの一種で、近年は人口壁に設置された人口岩を登るインドアスポーツとして人気が高まっている。プレイヤは、ただ壁を登るのではなく、難易度や階級によって決まった「課題」に挑む。「課題」は、設定されたスタートの岩からゴールの岩ま

で、指定された岩のみを使って登ることができれば、見事クリアとなる。

店内は、ほとんどがボルダリングのスペースで占められており、店内奥まで続く幅3メートルほどの通路に受付、専用シューズの棚、ベンチ、コインロッカー、自動販売機、マンガの詰まった書棚などが所狭しと並んでいる。店の奥には、オリジナルキャラクター「ボルQ」をかたどった人口岩が設置してある。店舗面積は100平米と専門施設としては決して広くないが、店主である小澤太一氏の「初めての方でもボルダリングに親しめるように」「お客様がこの空間を少しでも楽しめるように」という気持ちで、あちこちに表れている。

達成感に惹かれ
ボルダリングが趣味に

小澤氏は、東京都足立区で生まれ育った。いわく「その時代の子どもらしい平凡な子どもで、あまり執着やこだわりのない性格」だったそうだ。高校を卒業し、築地市場で卸売りの仕事に就いた後、25歳でパチンコ店に転職。12年間、経営に関わり、経理業務に携わっていた。とはいえ、パチンコという仕事にあまり熱意を持って、毎日「食べるため」と割り切って業務をこなす日々が続いた。こうした中、ストレスを解消すべ

く、軽い気持ちで始めたのがボルダリングだった。

高い壁と向かい合い、ただ目の前の「課題」に集中し、失敗しては試行錯誤を繰り返す。そんなボルダリングに、小澤氏は次第に魅了されていった。課題をクリアしたときには、家と職場を行き来する日常では味わえない達成感を得ることができた。何より、努力や頑張りの結果として自分に跳ね返ってくるのが、大きな魅力だった。

「ボルダリングジムを自分で作ったら、登り放題」そんな考えがふと頭

をよぎったことあったが、その時はもちろん冗談半分だった。しかし、気がつくといつしか、小さな達成感が充実感を与えてくれるボルダリングが自分の中で大きな存在になっていた。

好きなボルダリングが 人生の岐路で指針に

37歳になった小澤氏は、岐路に立たされていた。ストレスフルな状況を打破したいと、公私ともに、それ

まであった環境を離れる決心をした。転職が難しい年代であったことも、承知の上だった。

せっかく思い切って環境を変えるならば、もう一切、嫌なことはしたくなかった。嫌いな人とは付き合いたくないし、好きなことだけをして生きていきたい。では、何をして生きていこう？ 思いを巡らす小澤氏の脳裏に浮かんだのは、ボルダリングを仕事にしたいと考えたあの瞬間だった。

「近所にあったらフラリと立ち寄れる、そんなお店を作ろう！」当時のボルダリングジムは、プロや愛好家向けの店が多く、趣味として利用する小澤氏には、居心地の悪さを感じることもあった。自分の経験を活かして、初心者にもボルダリングの面白さを伝えられるお店を作りたいと閃いた。そう思うと行動が早かった。

まず、飲食店で朝から晩まで18時間以上働き、資金を貯めた。同時に起業のための知識や情報収集も行った。多忙な日々だったが、心持はパチンコ店勤務時代とは180度違う。苦痛を感じるどころか、目標に向かって一歩一歩前進できている気分で毎日を過ごしていた。

働き詰めの日々が2年ほど続いたある日、インターネットで起業セミナーを調べていると、商店街での開業を支援する「商店街起業促進サポート」が目にとまった。開業に向けて様々な知識を無料で得られるとあり、受講の申し込みをすることにした。

専門家の意見にはとすると！ 起業に向けて自分を知る

「商店街起業促進サポート」は、平成25年9月からスタートした。講座は全10回で、事業計画の立て方や店舗の探し方、資金調達の方法などを学ぶ座学、各受講者の事業計画について討議するグループディスカッション、専門家との個別相談会などで構成されていた。

受講当初は、既知の知識や情報もあり、誰よりもボルダリングについて知っていると思っていたため、アドバイスが腑に落ちないこともあった。

しかし、専門家による相談会に出席し、言われた一言にはっとした。自信を持って臨んだ説明に「そんなことは独りよがり。自分がそう思っているだけ」自分が話したことを相手がどう思うか、第三者にどう伝わるか深く考えさせられる瞬間だった。

それから、講座に臨む姿勢は、誰より真剣かつ前向きになった。中でも事業計画書は、何度もディスカッションを行い、書き直しを続け、ブラッシュアップされていた。

小澤氏が掲げたコンセプトは、初心者が気楽に楽しめるボルダリングジムだ。自分がそうだったように、ふらりと立ち寄った人が、ほっと一息つける空間を目指すことにした。コンセプトを決めて、次に出店エ



クライミングジム SPIDER

リアの条件を洗い出した。近隣に同業他社の施設がないこと、住宅街・企業のおフィス・教育施設がバランスよく存在すること、余暇に対して消費する余裕があること。絞ったエリアへ実際に足を運び、現地調査を行った。駅からの人通り、店舗や会社の立地状況、ランチの値段など、1エリアにつき5〜6回、3カ月にわたって調査は続いた。

町工場跡地のテナントが
天井高と広さの
条件を叶えた

講座の途中から、物件探しも日課になった。条件として、天井が高く、広い店舗面積が必要だったが、なかなかこれはいいと思える物件に巡り合うことができず、出合えても資金面で折り合いがつかずに諦めることが少なくなかった。

店舗探しは事業計画を進める大きなネックとなった。やつのことで現在の店舗に出合ったのは平成26年の冬。天井高も広さも申し分なく、内見すると理想的だった。たちまち開店後の脳裏にイメージが広がった。感触を探るべく毎週のように不動産屋に電話をかけた。その熱意が通じてか、晴れて4月に具体的に話を進めるまでにこぎつけた。

さらに、並行して、融資の申し込みもした。自己資金も十分でないた

め、あきらめ半分で申請したが、見事に採択された。それも日本政策金融公庫と取引銀行の両方から受けられることになり、自己資金の約3・5倍の融資が受けられた。申請時に提出したのは、講座を受けて作成した事業計画書だった。懸命に取り組んできたことがここで成果を表した。そして5月、店舗賃貸借契約書にサインをする日がやってきた。

お客様目線を大切に
初心者が楽しみやすい店に

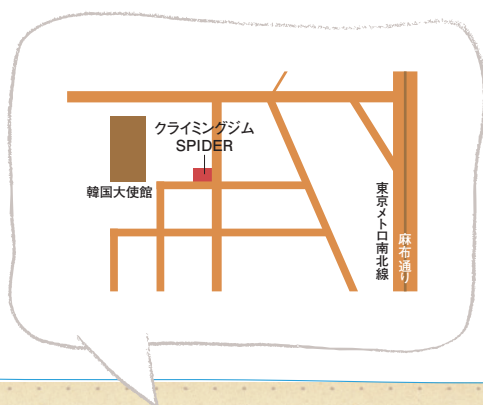
オープンのは、平成26年7月。講座で学んだとおり、オープン前から内装工事の様子をブログで伝えた。同時進行でチラシ作り、ホームページの開設を進めた。あえて大々的なPRは控え、近所でチラシを配るなどにとどめた。ゆつくり地域に浸透し、多くの地元のお客様に利用してもらいたいという思いからだ。開店から1年半が経過した現在でも、常にお客様目線での接客を心掛けている。

営業時間は、6時から25時で、夕方から夜がコアタイムだ。お客様の数は当初の予想を上回った。常連のお客様も少しずつ増え、お客様同士が会話を楽しむ姿も見られる。当初は想定していなかったが、小学生等の子供の利用も多く、週2回は、近所のインターナショナルスクールの課外授業の場となっている。

開業前から続けているブログは毎日更新しており、この継続性のお客様の心に届き、地域に浸透する店になると信じている。

『商店街起業促進サポート』の講座では、創業に関する知識についてはもちろんのこと、開業する際の基本姿勢を教わりました。特にグループディスカッションでの収穫が大きく、他の受講生や専門家の先生に指摘を受けることで、気づきが多くありました。それにより、常に『お客様から見たらどうだろう』と俯瞰して考える習慣が身につく、店舗を運営していくうえでも役立っています」

(小澤氏)



- 店名 クライミングジム SPIDER
- 業種 ボルダリングジム
- 所在地 港区南麻布 1-3-16 岩崎ビル 1 階
- 電話 03-6435-2797
- URL <http://climbing-spider.com/>
- 営業日 6:00~25:00
- 定休日 不定休
- 従業員数 1人
- 活用施策 商店街起業促進サポート

店主 小澤太一

今後も、お客様がより快適に過ごせるよう、さらに楽しいことを提供していきたいですね。ボルダリングだけでなく、マンガを読んだり、井戸端会議をしにくる人がいてもいいと思っています。ゆくゆくは、店舗をもっと増やし、各県に一店ずつ出店できればいいですね。自分の店に泊まりながら全国を旅することが夢です。そのためには、まずは都内で二店舗目を開店するのが目標です。